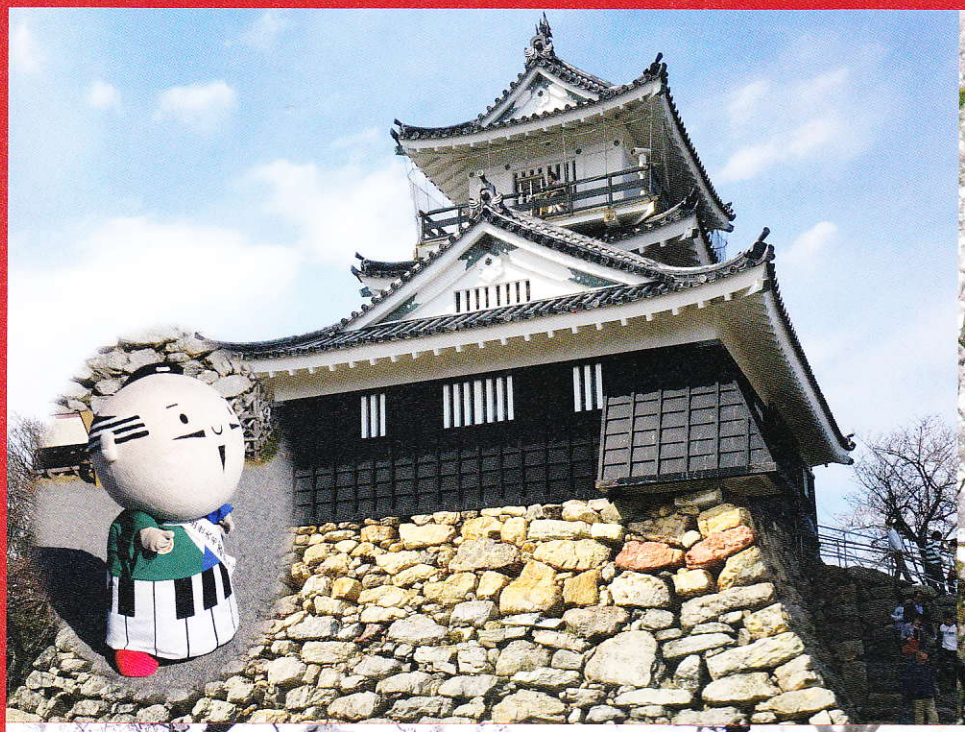
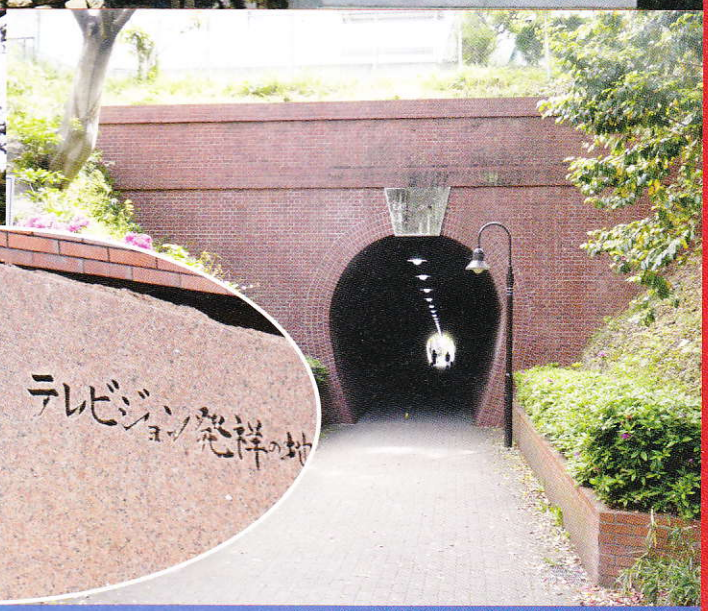
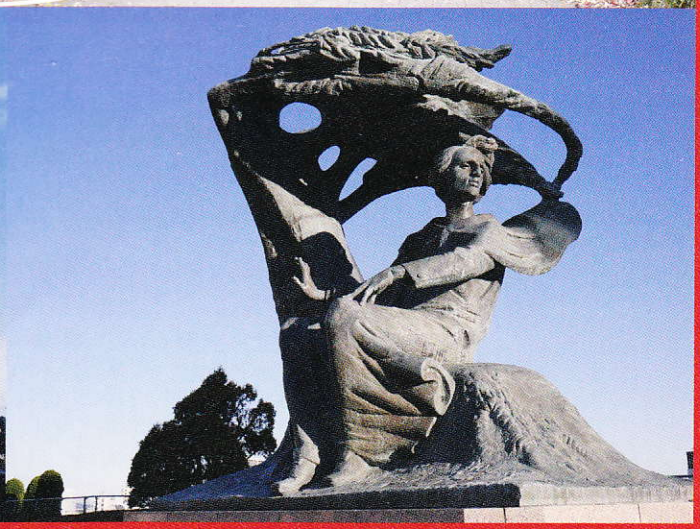
浜松市中心部 徒歩観光コース

浜松駅、浜松城、犀ヶ崖資料館発　30分、1時間コース







浜松駅発　徒歩30分・1時間コース

表記の距離・時間は目安です。

歩行距離 約1km　30分

①浜松駅 → 350m → ②ショパンの丘 → 200m → ③アクトタワー → 450m → ①浜松駅

中ホール屋上につくられた光あふれる公園。常緑樹が植えられ、彫刻やオブジェを楽しむことができる。丘の高いところには、公園のシンボルであるワルシャワ市から贈られたショパン像がある。

45 階建て地上 212.8mの高層ビル。ショッピング＆飲食ゾーンのアクトプラザ、ホテル、オフィスゾーンで構成されている。多彩な顔を持つ浜松のランドマークタワー。45階地上 185mの展望回廊からの眺めは爽快。

歩行距離 約1km　30分

①浜松駅 → 170m → ④プラタナスの木 → 400m → ②ショパンの丘 → 300m → ⑤キタラ広場 → 130m → ①浜松駅

太平洋戦争の「浜松大空襲」により市街地が焦土と化し、プラタナスの木も枯死したが3本だけは 2 年後の春見事に発芽した。昭和 39 年(1964年)6 月には「市民の木」と命名された記念すべき生命力の強い樹木。

中ホール屋上につくられた光あふれる公園。常緑樹が植えられ、彫刻やオブジェを楽しむことができる。丘の高いところには、公園のシンボルであるワルシャワ市から贈られたショパン像がある。

浜松駅北口広場で 4 月～10月(8月を除く)の毎土曜日の午後に、吹奏楽コンサート会場として、小学生から社会人までの楽団が演奏をしている。

①浜松駅 → 600m → ⑦黒田稲荷 → 150m → ⑥静岡銀行浜松営業部 → 650m → ①浜松駅

30分　歩行距離 約1.4km

1時間　歩行距離 約2.3km

⑥静岡銀行浜松営業部 → 550m → ⑧秀忠誕生の井戸 → 1km → ①浜松駅

「アンコ椿は恋の花」の歌手都はるみがデビュー前に祈願したところレコード大賞獲得の快挙を成し遂げた。本人直筆のサインが書かれた大きな絵馬がある。

浜松出身の建築家中村與資平の設計で昭和 3 年(1928年)、静岡で最初の鉄筋鉄骨コンクリート造の建物。平成18年（2006年）に浜松市指定文化財に登録。

二代将軍徳川秀忠公誕生の井戸。秀忠の生母は西郷局で、秀忠の出産のとき使われた「産湯の井戸」を誕生の井戸という。

①浜松駅 → 400m → ②ショパンの丘 → 50m → ⑨いこいの広場 → 200m → ⑩太陽の広場 → 650m → ①浜松駅

歩行距離 約1.3km

1時間

中ホール屋上につくられた光あふれる公園。常緑樹が植えられ、彫刻やオブジェを楽しむことができる。丘の高いところには、公園のシンボルであるワルシャワ市から贈られたショパン像がある。

コングレスセンター屋上につくられた、いこいの広場。
床のタイルがモザイク模様の広場で、周囲を緑や花が彩った、ゆったりとした空間で、アートワークを楽しむことができる。

展示イベントホール屋上につくられた、太陽の広場。1300平方メートルのスペースと、直径 13 メートルの円形ステージがあり、潤いに満ちたスペースで光と緑にあふれた屋外ステージがある。

①浜松駅 → 650m → ⑪分器稲荷 → 650m → ⑧秀忠誕生の井戸 → 1km → ⑫創造の丘 → 1.3km → ③展望回廊 → 400m → ①浜松駅

歩行距離 約4km

1時間

永禄 11 年(1568 年)2 月創建。清寧天皇の御代に勧請された。「分器」とは昔の度量衡を意味し、尺貫法の元締めとなる役人の住居があった。

静岡文化芸術大学の屋上は「創造の丘」としてつくられた庭園があり山の尾根を思わせるうねりが印象的。屋上から浜松市内が一望できる。

アクトタワー45 階地上 185 mからの眺めは爽快。東に富士山、南に遠州灘、西に浜名湖、北に南アルプスが見える絶景ポイント。

浜松城発　徒歩30分・1時間コース

㉑浜松城 → ㉒鎧掛松 → ㉓馬冷 → ㉔東照宮 → ㉑浜松城

歩行距離 約1.6km
30分

240m → 160m → 700m → 500m

三方ヶ原合戦から城に帰った家康が、大きな松の木陰で休んだ時、鎧を脱いでその松に掛けた。

家康が浜松城にいたころは戦いの連続であった。大汗をかいた家康の馬を冷やした池があった。

引間城跡でパワースポット。秀吉・家康が訪れ、後に天下をとった二人の銅像がある。家康を祀り社殿に葵のご紋。

㉑浜松城 → ㉕五社神社 → ㉖浜松復興記念館 → ㉗木下恵介記念館 → ①浜松駅

歩行距離 約2.2km
1時間

700m → 150m → 250m → 1.1km

諏訪神社を合祀。戦災前は国宝。二代将軍秀忠の産土神でもあり、現在は初詣、七五三詣で賑わう。

太平洋戦争で激しい空襲により市街地の大部分が焦土と化し、これの復興を記念して昭和63年(1988年)開館。

「二十四の瞳」「喜びも悲しみも幾歳月」などで、日本を代表する浜松出身の映画監督を記念。

(1.1km) 城駐車場

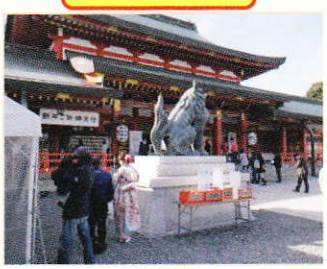
㉑浜松城 → ㉘蓮華寺 → ㉙心造寺 → ㉕五社神社 → ①浜松駅

歩行距離 約1.8km
1時間

500m → 150m → 50m → 1.1km

家康の家臣・鳥居四郎左衛門忠廣が三方ヶ原合戦で戦死し、その妻が蓮華寺妙光禅尼と号して創造。芭蕉の句碑が現存。

天正8年(1580年)讃誉智眼(さんよちげん)開山、開基は秀忠の母・西郷局。西郷局が奉納した鉄灯篭が残る。昭和26年(1951年)再建。



諏訪神社を合祀。戦災前は国宝。二代将軍秀忠の産土神でもあり、現在は初詣、七五三詣で賑わう。

(0.9km) 城駐車場

㉑浜松城 → 550m → ㉔東照宮 → 650m → ㉙椿姫観音 → 400m → ㉛八幡宮 → 300m → 遠鉄電車 八幡

歩行距離 約1.9Km

1時間

引間城跡でパワースポット。秀吉・家康が訪れ、後に天下をとった二人の銅像がある。家康を祀り社殿に葵のご紋。

亡き夫に代わり引間城主となったお田鶴の方は家康に滅ぼされる。築山御前は死を悼み椿の木を植えて供養。

三方ヶ原合戦で敗走の家康が楠の根元の洞窟に逃げ込んだとき雲が立って家康を守ったという伝説の楠がある。

八幡 → (1.2km) → 城駐車場

㉑浜松城 → 650m → ㉜玄黙口 → 150m → ㉝ホンダ発祥の地 → 400m → ㉞天林寺 → 900m → ㉑浜松城

歩行距離 約2.1km

1時間

三方ヶ原合戦で敗走の家康が浜松城の西門から入ろうとしたが、門番が開けてくれずに、堀に沿った玄黙口の潜り門から入城。

ホンダの創業者・本田宗一郎が「浜松アート商会」を昭和6年(1931年)に設立。
江戸時代の廃寺が大正まで"蛇屋敷"と呼ばれた跡。

曹洞宗の古刹。傑堂義俊(けつどうぎしゅん)禅師が、文安2年(1445年)、引間城の麓に創建。
新撰組中島登の墓碑、正岡子規の句碑。

㉑浜松城 → 550m → ㉔東照宮 → 550m → ㉞天林寺 → 1km → ㉛八幡宮 → 300m → 遠鉄電車 八幡

歩行距離 約2.4km

1時間

引間城跡でパワースポット。秀吉・家康が訪れ、後に天下をとった二人の銅像がある。家康を祀り社殿に葵のご紋。

曹洞宗の古刹。傑堂義俊(けつどうぎしゅん)禅師が、文安2年(1445年)、引間城の麓に創建。
新撰組中島登の墓碑、正岡子規の句碑。

三方ヶ原合戦で敗走の家康が楠の根元の洞窟に逃げ込んだとき雲が立って家康を守ったという伝説の楠がある。

八幡 → (1.2km) → 城駐車場

㉑浜松城 → 550m → ㉟奥山線跡遊歩道 → 800m → ㊶犀ヶ崖資料館 → 50m → バス停 さいが崖

歩行距離 約1.4km

1時間

浜松市の現・遠州病院駅から北上して北区の奥山駅を結んでいた軽便鉄道。大正3年(1914年)開通、昭和39年(1964年)廃止。

三方ヶ原合戦で徳川軍の夜襲で武田軍の多くが崖から落下した場所。山田卓司氏のジオラマ展示。遠州大念仏の資料を展示。

犀ヶ崖発 徒歩30分・1時間コース

㊶資料館 → 100m → ㊷夏目吉信の碑 → 300m → ㊸三社神社 → 200m → ㊶資料館

- 30分：歩行距離 約0.6km
- 1時間：歩行距離 約1.6km

㊷夏目吉信の碑 → 700m → ㊹高柳記念未来技術創造館 → 800m → ㊶資料館

三方原の戦いで討死した武将のうち、最も有名な夏目次郎左衛門吉信。敗走中の家康の身代わりとなり、武田勢に突進・奮戦した。

創建は延暦 15 年(796 年)。三方原の戦いで社殿、社宝などが焼失したが、寛文 8 年(1668 年)浜松藩主太田資宗が社殿を造営し現在地に遷座。

世界で初めてブラウン管に「イ」の字を映し出した高柳健次郎の偉業を偲び設立。テレビの社会への波及効果の具体例などを展示。

㊶資料館 → 250m → ㉟奥山線跡遊歩道 → 1.2km → ㉑浜松城 → 250m → バス停 市役所南

- 1時間：歩行距離 約1.7km
- 1時間：歩行距離 約2.3km

㉟奥山線跡遊歩道 → 1km → ㊱松韻亭 → 800m → ㉑浜松城 → 250m → バス停

大正 3 年(1914 年)から昭和 39 年(1964 年)まで、浜松～奥山間を走っていた軽便鉄道の跡が、遊歩道になっている。春の桜、夏の緑陰など市民が楽しめる遊歩道。

緑に囲まれた茶室で、呈茶サービス(有料)を行っている。もてなしの文化である茶道、その日本の美意識を感じてみてはいかが。

家康が 29 歳から 17 年間居城。家康の天下取りの足掛かりの城であり、出世城といわれる。野面(のづら)積みの石垣は戦国時代のまま現存。

㊶資料館 → 250m → ㉟奥山線跡遊歩道 → 730m → ㊺普済寺 → 700m → ㊻西来院 → 500m →

歩行距離
約 2.8km

→ ㊼宗源院 → 600m → ㊽西部協働センター(「イ」の字) → 20m → バス停 広沢一丁目

1 時間

㉟奥山線跡遊歩道

大正 3 年(1914 年)から昭和 39 年(1964 年)まで、浜松～奥山間を走っていた軽便鉄道の跡が、遊歩道になっている。春の桜、夏の緑陰など市民が楽しめる遊歩道。

㊺普済寺

天竜川以西の曹洞宗の親寺。室町時代初期、華蔵義曇(けぞうぎどん)禅師により開かれ永亨 6 年 (1434 年)に寺島から現在の地に移された。

㊻西来院

曹洞宗、普済寺十三派のひとつ。「月窟廟(家康の正室築山御前廟)」、「松平源三郎康俊(家康の異父弟)の墓」がこの寺にある。

㊼宗源院

曹洞宗、普済寺十三派のひとつ。応永 23 年(1416 年)に在天弘雲和尚により開かれた。「成瀬藤蔵正義の墓」など三方原合戦で戦死した兵士の墓がある。

㊽西部協働センター

昭和元年(1926 年)に高柳健次郎が世界で初めてブラウン管に「イ」の字を映し出すことに成功。当時の浜松高等工業学校跡地に「イ」の字と「浜松高等工業学校開校の地」の碑がある。

「イ」の字を裏で書いた雲母板
(1926年(大15))

“テレビの父”
高柳健次郎 (1899～1990)
昭和 56 年(1981 年)文化勲章受章
写真：静岡大学高柳記念
未来技術創造館提供

㊶資料館 → 1.7km → ㊾蜆塚公園 → 200m → バス停 蜆塚遺跡前

1 時間

歩行距離
約 1.9km

歩行距離
約 2.1km

→ 200m → ㊿浜松市博物館 → 200m → バス停 博物館

博物館に隣接し、蜆塚遺跡のある公園。縄文人が積み上げた貝塚の断面を観察したり、復元された住居に入ったりと、縄文時代にタイムスリップしたような気分を味わうことができる。

市立の歴史系博物館で、原始から近代まで、浜松地域の歴史資料を紹介しており、縄文時代の貝塚、国指定史跡「蜆塚遺跡(しじみづかいせき)」に隣接している。

マンホール

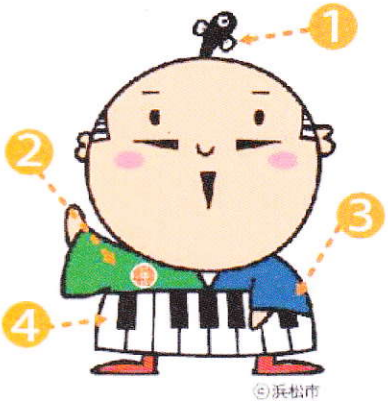
浜松市中心部 徒歩観光マップ

静岡大学
㊹高柳記念未来技術創造館
㊷夏目吉信の碑
㊶犀ヶ崖資料館
㊸三社神社
㊽西部協働センター（「イ」の字）
㊼宗源院
㊻西来院
㊺普済寺
㉟奥山線跡遊歩道
㊱松韻亭
㉑浜松城
美術館
㉓馬冷
㉒鎧掛松
㉞天林寺
㉙椿姫観音
八幡
㉛八幡宮 雲立ちの楠
ホテル コンコルド浜松
㉝ホンダ発祥の地
㉜玄黙口
㉔東照宮
⑧秀忠誕生の井戸
市役所
遠州病院
クリエート浜松
遠鉄電車
遠州病院
⑫静岡文化芸術大学 創造の丘
⑪分器稲荷
中央図書館
㉘蓮華寺
㉙心造寺
㉕五社神社
⑥静岡銀行 浜松営業部
⑦黒田稲荷
㉖浜松復興記念館
ザザシティ
㉗木下恵介記念館
第一通り
楽器博物館
郵便局
バスターミナル
科学館
新浜松駅
①JR浜松駅

浜松市博物館周辺

㊶犀ヶ崖資料館
㊾蜆塚公園
㊿浜松市博物館
㉑浜松城

出世大名家康くん解体新書



©浜松市

1 **浜名湖うなぎのちょんまげ**
触れると出世運がアップするというジンクスも！

2 **みかんの家紋**
ほどよい甘さと酸味のバランスが良く、人気の高い「みかん」の家紋。

3 **紋付**
緑色：浜松市の面積の約66%を占める森林イメージ
青色：浜名湖、天竜川、遠州灘をイメージ

4 **ピアノの鍵盤のはかま**
浜松を象徴するピアノの鍵盤のはかま。

発行 浜松観光ボランティアガイドの会
〒430-0946
浜松市中区元城町 100-2 （浜松城内）
TEL&FAX 053-456-1303
ホームページ http://www.hama-svg.jp/
浜松観光ボランティアガイド 検索